



2020年2月

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2020年2月 \(2 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2020年2月 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces ランタイム \(3 ページ\)](#)
- [不具合 \(3 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存の Wi-Fi インフラストラクチャを活用して実用的な情報を提供し、ビジネスの成果を促進するロケーションプラットフォームです。物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。さらに、Cisco Spaces はパートナープログラムを通じて、さまざまな業界向けのさまざまなアプリを提供しています。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- パートナーダッシュボードでは、BLE デバイスの更新を受信するための新しいイベント [BLE Update] が追加されています。
- Instagram によるキャプティブポータル認証に対応しています。
- 異なる色とフォントでコンテンツを表示するように [Access Code] ウィンドウを拡張しました。
- アクセスコードを PDF としてエクスポートできるようになりました。
- 期限切れのアクセスコードを含む複数のアクセスコードを同時に削除できるようになりました。
- 期限切れのアクセスコードの総数を表示するようにプロビジョニングしました。

- 特定の月のすべてのロケーションの統合レポートを表示するため、行動メトリクス小売業分野の新しいチャート、[Retail Experience Grid] を提供するようになりました。
- ネットワークトポロジ API を拡張して、Cisco DNA Center を使用して作成されたネットワーク階層にフロア番号のサポートを提供します。

新機能：2020年2月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

パートナー ダッシュボード

BLE デバイスの更新を受信するために、新しいイベント [BLE Update] がパートナーダッシュボードの [Events] タブに追加されます。このイベントは、BLE デバイスからのテレメトリの更新があるときにトリガーされます。

機能強化：2020年2月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

アクセスコードマネージャ

キャプティブポータルアプリの [Access Code] オプションに次の変更が加えられました。

- アクセスコードウィンドウは、テキストを異なる色とフォントで表示するように拡張されています。
- 複数のアクセスコードを同時に削除できるようになりました。アクセスコードごとにチェックボックスが表示され、一度に複数のアクセスコードを選択して同時に削除することができます。また、期限切れのアクセスコードを削除することもできるようになりました。
- アクセスコードを PDF 形式でエクスポートできるようになりました。[Access Code] ウィンドウの右端に表示される [Export] メニューの下に、新しいオプション [Export as PDF] が表示されます。
- 有効期限が切れたアクセスコードの総数が、[Access Code] ウィンドウの上部に表示されるようになりました。

行動メトリクス

新しいグラフ [Retail Experience Grid] が、[Retail] の行動メトリクスレポートで利用できるようになりました。このグラフは、すべてのロケーションからの月全体の滞在時間と訪問頻度を統合したレポートを示しています。グラフは、ルートロケーションとグループロケーションについてのみ表示されます。滞在時間は X 軸に表示され、訪問頻度は Y 軸に表示されます。

パートナーアプリ：ネットワークトポロジ API

ネットワークトポロジ API が拡張され、Cisco DNA Center を使用して作成されたネットワーク階層にフロア番号のサポートを提供します。ネットワーク階層を作成する場合、Cisco DNA Center はフロア番号をサポートしません。これは Network Topology API に影響を与え、フロア番号はすべてのフロアに対して 1 として返されます。これを解決するために、Network Topology API は、ロケーション階層で設定されたメタデータを使用してフロア番号を上書きするようになりました。

Cisco Spaces ランタイム

Cisco Spaces ランタイムに、次の新機能が追加されました。

Instagram によるキャプティブポータル認証

Cisco Spaces は、キャプティブポータルの認証オプションとして Instagram をサポートするようになりました。顧客獲得時に、顧客は Instagram ログイン情報を使用してキャプティブポータル認証を完了することができます。現在、この機能はダッシュボードでサポートされていません。この機能を利用するには、Cisco Spaces サポートチームに連絡する必要があります。Facebook 開発者アプリを使用して Instagram アプリを作成し、有効な Web サイトの URL を設定する必要があります。次に、キャプティブポータルアプリの [Settings] > [Social Apps] の下にある Cisco Spaces ダッシュボードで Instagram アプリ ID と秘密キーを設定します。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字 (a ~ z)、N は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

シスコバグ検索ツール (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvq83680	RBAC：特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvp57525	ロケーション分析：滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している。
CSCvs79627	Meraki カメラ：ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvs76739	カメラ：meraki カメラページに meraki 認証情報を入力するオプションがない。
CSCvs90108	SSO が有効なドメインの電子メール ID を使用しているときに、ユーザーはパートナーダッシュボードにログインできない。
CSCvs97445	ロケーション階層ページでユーザー数が正しく表示されない。
CSCvs67256	CMX トークンの追加中に、「API の追加」呼び出しがキャンセルされ、ページが読み込まれない。

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvs08343	ホットスポットで設定されたコネクタが削除されても、関連するホットスポットは削除されない。
CSCvs69816	CMX テザリング：フロアが削除されると、フロアアクセスポイントがビルディング（ネットワーク）に移動。

CDETS ID 番号	説明
CSCvs86351	キャプティブポータル編集ページ：電子メール認証モジュールに不要な「アクセスコード」テキストが表示される。
CSCvs75816	フロアを削除して再度追加すると、フロアマップがロケーション階層に表示されない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。